

電話のあれこれ

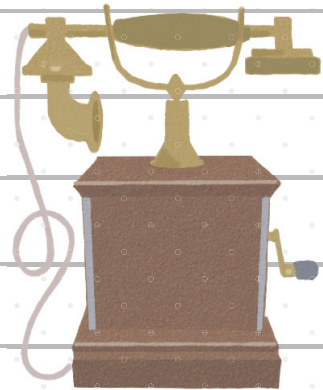
◆^{たくじょうでんわ かべかけでんわ めいじ たいしやう}卓上電話、壁掛電話（明治～大正のころ）

^{でんわこうかんしゆ かいせん しゆどう でんわ}
電話交換手が回線を手動でつないでいた電話

^{き たくじやうしき かべかけ でんわき}
機です。卓上式や壁掛の電話機は、ハンドルを

^{まわ でんき こうかんしゆ よ だ こうかん}
回して電気をおこして交換手呼び出し、交換

^{しゆ でんわ あいてさき}
手が電話の相手先につないでいました。



◆^{くろでんわ しょうわ}黒電話（昭和のころ）

^{くろでんわ くろ はこ じゆわき でんわ}
黒電話は、黒い箱と受話器からなる電話

のこです。^{ほんたい}本体にあるダイヤルを回して、

かけていました。

ポケベルが昭和の終わり
ころに登場するよ！

◆^{しやうわ お}プッシュホン（昭和の終わりごろ）

プッシュホンとは、^{くろでんわ}黒電話のように

ダイヤルをまわすのではなく、ボタン

^{お でんわ でんわき}を押して電話する電話機です。



今みたいにスマホがない時代、おでかけ先でどうやって
電話をかけていたのでしょうか。

^{こうしゆうでんわ せち しょうもくてき}
公衆電話が各地に設置されていました。使用目的によって
^{いろわ あかでんわ あおでんわ}
色分けされていて、赤電話や青電話などがありました。が、
^{いま み みどり こうしゆうでんわ いっぱんてき ふきゆう}
今でも見る緑の公衆電話が一般的に普及していきます。

◆^{げんざい でんわ}現在の電話

^{げんざい おお ひと つか}
現在は多くの人がスマートフォンを使っていま

^{こていでんわ お いえ いぜん くら}
す。固定電話を置いている家も以前に比べると

^{すく}
少なくなりました。

ポケベルから持ち運べる携帯
(ガラケーやスマホ)に発展し
ていったんだよ。

